



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

6

No. 598



まちひと百景

レモン色のじゅうたん鮮やかに

上平地区の交差点付近の日本海側に菜の花が一面に咲き、国道沿いに車を止め景色を楽しんでいる方も見られた。

あいにくこの日は、晴れてはいるものの雲が多く、レモンの鮮やかさが出ず残念だったが、菜の花のレモン色と風車の白、これに空の青さが加われば素晴らしい景色となるだろう。

風下にたったときには、菜の花の香りが辺りに感じられ、肌寒かった春の終わりが近いと感じた。

- 議員構成が決まるほか・・・2
- 退任議員へ感謝状を贈呈ほか・・・3
- 平和の鐘慰霊法要ほか・・・4
- 清掃ボランティアほか・・・5
- 健康ばんざい・・・6
- まなびの情報・・・7
- 後期高齢者医療ガイド・・・8
- 国民年金・・・9
- 住まいる情報・・・10～11
- ちびっこギャラリー・・・12

まちの人口

人口/3,598人 (男/1,702人:女/1,896人)
世帯数/1,632世帯 (5月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

議会構成が決まる ～5月10日開催の町議会臨時会で～



西 議会運営委員長



青木 総務産業常任委員長



間宮 副議長



星野 議長

● 衛生施設組合議会議員	田沢 收	● 羽幌町外二町村	小倉 哲志	● 北留消防組合議会議員	青木 幸隆	副委員長	田沢 大收	委員長	西田 志	● 議会運営委員会	委員	星野 恭司	委員	間宮 英明	委員	千倉 一志	委員	小倉 哲志	委員	阿部 俊一	副委員長	西田 大志	委員長	青木 幸隆	● 総務産業常任委員会	委員	星野 恭司	● 副議長	間宮 英明	● 議長	星野 恭司
---------------------	------	------------------	-------	---------------------	-------	------	-------	-----	------	------------------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	------	-------	-----	-------	--------------------	----	-------	--------------	-------	-------------	-------

統一地方選挙後初となる町議会臨時会が五月十日（火）に開催され、議会構成が決定された。最初に議員八名による議長・副議長の選挙を行った。これまでの総務文教と産業厚生との二つの常任委員会が一つとなり「総務産業常任委員会」として八名の議員全員が構成員で組織され、同委員長、副委員長の互選を行った。また、監査委員などの選任も行われた。

正・副議長並びに常任委員、議会運営委員、監査委員は次のとおり。

（敬称略、委員の氏名は議席順）

8	7	6	5	4	3	2	1	● 議会発行特別委員会	田沢 收	副委員長	千倉 一志	委員	阿部 俊一	委員	西田 大志	委員	小倉 哲志	委員	青木 幸隆	委員	阿部 俊一	委員	青木 幸隆	● 監査委員（議会選出）	委員	青木 幸隆	● 議員会長	青木 幸隆	● 議席番号
---	---	---	---	---	---	---	---	--------------------	------	------	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	---------------------	----	-------	---------------	-------	---------------

町長選挙及び町議会議員選挙候補者の選挙運動費用

このたびの統一地方選挙における町長選挙及び町議会議員選挙における各候補者の選挙運動費用を法律の規定に基づき次のとおり公表します。

選挙運動に関する支出金額の制限額は、次のとおりです。

- 町長選挙** 1,637,600円
- 町議会議員選挙** 1,329,700円

● 町長選挙	森青	利男	326,187円
● 町議会議員選挙	阿伊	木部	370,550円
	小田	利幸	290,193円
	千西	一実	501,755円
	猫星	哲志	370,875円
	問宮	收一	295,963円
		勇大	753,870円
		鳥野	273,572円
		恭司	388,702円
		明	299,790円
			341,351円

（敬称略、議員選挙候補者名は五十音順）

一斉に町内をきれいに！ ～苫前町子ども会育成連絡協議会がクリーン作戦～

苫前町子ども会育成連絡協議会（早川日出利会長）が5月7日（土）クリーン作戦を実施し、町内のゴミ拾いを行った。

当協議会では毎年5月上旬に子ども会員や育成会員の他、老人クラブ、婦人会などと一緒に関心作戦を実施しているが、今回はあわせて320名が苫前地区・古丹別地区のそれぞれの単位子ども会の範囲を中心にゴミ拾いなどを行った。

午前10時から開会式を行った後、約2時間にわたり一般ゴミや破碎ゴミを中心に拾い、一般ゴミが260キロ、破碎ゴミが205キロも処理され、そのゴミの多さに関係者も驚いていた。



退任議員へ感謝状を贈呈

5月9日(月)役場町長室において、4月末をもって議員を退任された林秀行さん、猫島優さん、渡部一男さんの3名に感謝状が贈呈された。

林秀行さんは平成3年に初当選し5期20年間、猫島優さんは平成15年に初当選し2期8年間、渡部一男さんは平成19年に初当選し1期4年間議員を務め、町政の発展に寄与されたことを讃え、森町長から感謝状がひとりひとりに手渡された。

贈呈者を代表して林秀行さんは「これまで議員活動ができたのは、町民の皆様のお陰と思っている。これからは一町民として町の発展に貢献していきたい」と述べた。



春の全国交通安全運動期間の取り組みとして シートベルトコンビンサーを使ってシートベルトの着用効果を体験



春の全国交通安全運動期間中の取り組みの一環としてシートベルトコンビンサーを使ったシートベルト着用効果の体験が、5月11日(水)役場車庫前で実施され、役場職員や町交通安全協会会員などが体験を行った。

シートベルトコンビンサーとは、車の衝突時の衝撃を体験し、シートベルトの着用効果を体験できる車両で、車のシートに腰掛け、坂道を下る原理でスライドし停止、時速約5キロメートルで衝突したのと同じくらいの衝撃を体験できるものを、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)の協力で実施された。

体験者は「スピードは遅いけど、衝撃は結構ある」などと感想を言い、シートベルトの重要性を改めて認識していたようだ。

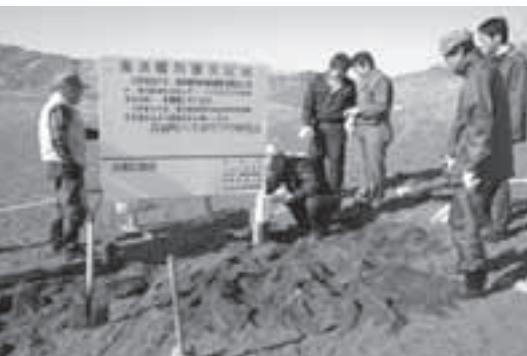
セーフティコールで交通安全啓発

5月11日(水)苫前中学校前で交通事故防止に向けたセーフティコールが行われ、町交通安全協会をはじめ、交通安全指導員や婦人団体、役場職員など37名が参加、交通安全の旗を持ち、駐車帯で車両1台1台にスピードダウンの啓発用品を渡しなが、安全運転の呼びかけを行った。

5月19日現在で北海道内における交通事故死者数は前年と同じ時期と比較して21名少ない42名の全国でも第14位となっており、羽幌署管内でも事故数が5件、負傷者が7名で前年よりも減少しているが、これから夏場に向けて車のスピードも上がっていく傾向であることから、警察では警戒を強めているようだ。



ハマボウフウを採らないで！ ～町ハマボウフウ研究会が看板設置～



町ハマボウフウ研究会(鎌田孝会長)がホワイトビーチ付近と上平河口付近にある圃場(ほじょう)に復元区域内での海浜植物を採取しないよう呼びかける注意看板の設置を5月11日(水)に行った。

同研究会は今年2月に町高齢者事業団のメンバーを中心に設立、ハマボウフウやオカヒジキなどの海浜植物の復元や高齢者を中心とした住民による山菜ビジネスの創出を目指し活動を展開している。前段に昨年11月海岸で自生するハマボウフウから採取した種子5千粒を植え付け、圃場内のものが1センチほど出始めていることから、今回の看板設置となった。

鎌田会長は「住民の皆さんもこの区域内の植物を採らないで」と協力を呼びかけている。

戦争のない世の中を願って ～平和の鐘慰霊法要～



久々に晴れ渡った5月15日（日）に平和の鐘奉賛会（中野吉晴会長）による慰霊法要が古丹別緑ヶ丘公園内にある戦没者慰霊堂で行われ、留萌管内各地より約90名の方々が参列、第2次世界大戦へ招集され御霊となった増毛町から幌延町までの1953人の冥福を祈った。中野会長からの追悼の言葉の後、参列した竹内勝副町長が「年月の経過に伴い戦争の記憶が忘れ去られようとしている今、後世や世界に戦争の怖さと悲惨さを伝えていくことが必要である」と述べた。この後、参列者は慰霊堂横にある鐘つき堂に並び、戦争のない世の中を思い願いながら、一人ずつ鐘をついた。

快晴に桜咲き、ジンギスカンに舌鼓 ～第40回緑ヶ丘公園さくらまつり～

5月15日（日）午前11時から古丹別緑ヶ丘公園で第40回緑ヶ丘公園さくらまつりが開催され、多くの町民が桜を見ながらイベントを楽しんだ。

5月に入っても天候不順で気温が上がらないことから、実行委員会や関係者も公園内のエゾヤマザクラやソメイヨシノなどの開花も心配していたが、2～3日前まで咲いていなかった花も当日の暖かさでなんとか開花、三、四分咲きの中で無事に開催された。

まつりでは、緑ヶ丘公園桜祭り実行委員会の大矢根正春委員長が「天候も桜も心配していたが、快晴の中で桜も咲いた中、町内外より多くの皆さんに参加いただき感謝している。今日一日楽しんでください」とあいさつ。森町長も「東日本大震災で自粛ムードがあるが、イベントを通



して少しでも活気づけばと思い開催している。自然とふれあい、互いに交流しながら英気を養ってください」との挨拶の後、苫前鱗萃会による勇壮なよさこいソーラン、演歌歌手による歌謡ショーや来場者によるカラオケ大会などのステージイベントが行われ、商工会女性部によるそば・うどん、たこやきや町内商店・団体などによる販売も賑わいを見せていた。

仲間うちや家族連れなどで訪れていた来場者は、ジンギスカンに舌鼓を打ちながら、お酒を楽しみ、中には踊り出す人も出るなど、久々の天気と咲いた桜を楽しみながら春のひとときを過ごしていた。



バルーンアートでコミュニケーションを ～バルーンアート初心者講習会～

町公民館と留萌振興局の共催によるバルーンアート初心者講習会が5月16日（月）公民館で、町内外の保育園児から高齢者まで34名が集まり開催された。講師は留萌振興局建設管理部地域調整課長の郷康則さん。郷さんは道路関係の技術者で本町の力屋九重線の担当者でもあるが、バルーンアートの魅力にはまり、自分でもバルーンアートを始め、現在は振興局が事務局のオロロン・バルーンアート・サークルに所属、留萌市外での初めての講習会で講師を務めた。

「バルーンはコミュニケーション。垣根なく交流してほしい」と述べた後、バルーンで簡単に作ることができるイヌやウサギ、ハートなどの作り方を参加者に教え、参加者もその楽しさにとりつかれたようにバルーンの楽しさを堪能していた。



消防士になりきり放水開始！ ～古丹別保育所が幼年消防クラブ半日消防士体験～



北留萌消防組合古丹別支署（加藤隆雄支署長）による幼年消防クラブ半日消防士体験が5月19日（木）古丹別支署前で行われ、古丹別保育所（川森のり子所長）の青・黄・桃組の計22名が体験を行った。

当初は4月28日に実施する予定だったが、降雨などにより延期され約1ヶ月遅れの開催となったため、園児たちも待ちわびていたようだ。

体験では、青・ピンク・黄色の消防服に身を包んでの放水体験や水消火器による消火体験、消防車に乗車し市街地で火の用心の呼びかけなどを行ったが、放水体験でははじめは恐る恐るだった園児たちも次第に慣れ、気分は消防士といった表情でホースをにぎっていた。

波乗り場所をきれいに -サーフィン愛好家による清掃ボランティア-



本町の海岸でサーフィンを楽しむ地元苫前町や留萌、旭川などの愛好家約20名が5月21日(土)に旧上平海水浴場付近のゴミ拾いを行った。

これは、毎年5月の第4水曜日に海岸線の清掃を行っているクリーンアップ日本海に先駆けて行っており、小雨が降る中約1時間かけペットボトル、缶、発砲スチロールが散乱する砂浜を清掃、準備していた60枚ほどのゴミ袋もあつという間に無くなるほどだった。

地元愛好家の竹谷諭さんは「毎年この場所を使わせていただいていることへの感謝を込めて実施している。次年度以降も継続していきたい」と述べた。

留萌管内少年東西対抗剣道大会・留萌管内少年少女個人選手権大会

5月22日(日)苫前中学校体育館で、第48回留萌管内少年東西対抗剣道大会兼第38回留萌管内少年少女個人選手権大会が留萌地方剣道連盟連絡協議会の主催で開催され、管内より約100名の剣士が日ごろの練習の成果を発揮した。

大会は、個人戦で小学校2年生以下、3・4年生、5・6年生、中学生の部の5部門で男女別に行われ、苫前剣道連盟(三上敏行会長)からも12名の小中学生が参加した。また、苫前町以北を西軍、小平町以南を東軍として行われた東西対抗戦では西軍が20勝11敗11分けて勝利した。結果は次のとおり(本町の入賞者のみ)

小学校3・4年生の部 男子 優勝：坂川晃寛 準優勝：能登雄大
小学校3・4年生の部 女子 3位：今 彩華



寒さの厳しい中、苫前町消防団総合演習が行われる



日頃の訓練成果や消防団と消防職員の連携確認等を目的とした総合演習が5月22日(日)役場駐車場で開催され、消防職員、消防団員など48名が参加、日頃の訓練の成果を披露した。

服装点検、機械器具点検などのあと小隊訓練やポンプ操法を実施、機敏な動きに訪れた来賓からは拍手がおこった。また、模擬火災訓練として高齢者事業団事務所を使用し、連絡体制や消火の際の役割分担の確認を含めた放水訓練を行った。サイレンの警笛や火災箇所の連絡など本番さながらの訓練では、消防職員、団員双方が緊張した面持ちで自分の役割を見事にこなし、講評でも「相互の連携がとれており、素晴らしい」と評価されていた。

すこやか太極拳教室 -ヘルシーライフ教室すこやか北海道21- ~ストレス解消の呼吸法、バランス力アップで足腰強化を~

日時 7月2日(土) 午前10時~午前11時30分
場所 羽幌町総合体育館(羽幌町朝日31-1)
講師 日本健康太極拳協会 三角 明氏
対象 18歳以上の方であれば誰でも
申込み 6月23日(木)までに 苫前町役場栄養士 駒井(☎64-2215)へ
協賛 株式会社ヤクルト北海道

参加無料です



北海道栄養士会留萌支部

ファイヤー通信

最近全国的に山火事や野火が多発しております。山火事は、人的による要因が多いのが現状ですので、山に入る際は火気の使用は極力避けるようにしましょう。

山でのたばこの投げ捨てはやめましょう。携帯用灰皿を持参するなど、愛煙家としてのマナーを忘れずに!



山の緑を 火災から 守ろう

全国で悪質な訪問販売の被害が後をたちません。

消防や役場が消火器や住宅用警報器を斡旋することはありませんので、十分注意願います。



火事・救急は119番!

北留萌消防組合 苫前支署 ☎64-2321
" 古丹別支署 ☎65-4119

健康ばんざい

『肝炎ウイルス検査とエキノコックス症検診を受けたことがありますか？』

今月の担当は新田保健師です。

「沈黙の臓器・肝臓」感染してもほとんど自覚症状がない！

肝臓は、吸収された栄養を体内で活用できる物質に変えたり、貯蔵したりするなど、生命を維持するために重要な働きをしています。肝臓の病気というと、以前まではアルコールが最大原因と思われていましたが、実は半数以上が肝炎ウイルス（B型・C型）によるものです。

しかし、これらに感染しても症状が軽かったり、全くでないこともあるので感染に気づかないことが多いのです。

エキノコックス症は潜伏期が長く、すぐに自覚症状が現れません！

エキノコックスという寄生虫が主に肝臓に寄生して起こる病気で、道内では毎年十数名の患者が見つかっています。キツネや犬の糞と一緒に排泄された虫卵が付着した野生の果物や山菜、沢水などのなま水などを直接口にしたり、寄生虫の卵が付着した手指を介して感染します。山菜などはよく加熱もしくはよく洗ってから食べるようにしたり、外出後は必ず手洗いをすることが大切です。人の体内では、自覚症状は全く

数年から十数年の潜伏期があり、病気が進むと肝機能障害を起こします。そのため定期的に検診を受け、なるべく早い時期に発見することが大切です。

本町では、特定健診とあわせて、肝炎ウイルス検査とエキノコックス症検診を左記の内容で実施します。検査対象となる方に条件がありますのでご確認の上、受診しましょう。

- ①日程 平成23年9月14～16日、12月15～16日
- ②会場 町公民館、町福祉センター
- ③検査方法 血液検査
- ④対象者 (重要！)

〈肝炎ウイルス検査〉
 ・満40歳になる方（生年月日が昭和46年4月1日から昭和47年3月31日まで）
 ・満41歳以上となる方で過去に肝炎ウイルス検診に相当する検査を受けたことがない方

〈エキノコックス症検診〉
 5年に一度受診できるよう対象地区を決め巡回しており、今年度は、上平・三豊・港・栄浜地区在住の小学3年生以上の住民
 詳細は後日回覧等でお知らせします。

＋Dr.小野の処方せん

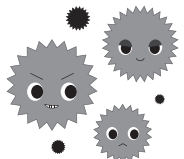
がん

最近の我が国の3大死因は、「がん」「心疾患」「脳血管疾患」であり、死因全体の3分の2を占め、その中でも「がん」が最多で3割にのぼる。

がんは遺伝的に規定されるもの、単一要因によるものは少なく、多くは宿主要因と多くの外的要因が作用し、長い潜伏期を経て生ずる。最大の宿主要因は年齢である。がんは体の細胞遺伝子に異常が入ることで発症する遺伝子の病気である。発がん過程で異常を起こしている遺伝子は、がん遺伝子とがん抑制遺伝子に大別できる。この遺伝子の変化により、がん化するまでには時間がかかり、そのためがんは高齢者に多いと考えられる。

がんを誘発する病原体としてピロリ菌、C型肝炎ウイルス、B型肝炎ウイルス、パピローマウイルスなどが実証されている。生活習慣病との関連では肥満が大腸がん、乳がん、子宮体がん、腎がんなどの危険因子となり、運動が大腸がんに予防的である。

がん予防法としてはたばこを吸わない、節度ある飲酒（日本酒で1合）、偏食しない（減塩、野菜、肉の適量）、活動的生活（60分の歩行）、適正な体重（平均的）、ウイルス感染の予防（肝炎ウイルス、ピロリ菌、パピローマウイルスなど）があげられる。



医療法人社団オロロン会
 苫前クリニック
 院長 小野 哲郎 ☎64-9070

苫前町家族交流会のご案内

苫前町では、統合失調症やうつ病等の心の病を抱える方の家族が集まり、お互いの悩みや気持ちを話し合う「家族交流会」を開催しています。毎回5～6名の方が参加されています。

- ・開催予定 7月13日(水)、11月9日(水)
 - ・開催時間 1回あたり2時間程度を予定
 - ・開催場所 苫前町役場等
 - ・内容 近況についての話し合い、管内の施設見学、制度についての学習会等
- ※内容によっては、時間の延長や開催場所が変更になることがあります。

○このような方はぜひご参加下さい。

- 心の病を抱える方の家族で
- ・心の病を抱える方とどう関わったらよいかわからない方
- ・自分と同じ立場の人たちの声を聞きたい、聞いてもらいたい方など

参加をご希望の方や家族交流会について詳しく知りたい方は、下記にお問い合わせ下さい。また、心の病に関する相談はいつでも受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。



■問い合わせ先
 苫前町町民課けんこう係 保健師
 ☎0164-64-2215
 留萌保健所子ども保健推進課 保健師
 ☎0164-42-8327